|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 開催案内 | 議事録 | 連絡書 | 発行日：2014, １１,　５ |
| 作成者：事務局　大久保正機 |
| **件名** | **自主防災隊　第７回「非常時体制検討チーム」** |
| 配布先 | 本部：長谷川さん、中泉さん各代表支隊長、青パト機動隊代表事務局：林さん、宇津木さん |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|

|  |
| --- |
| Ⅰ．開催日時：２０１４年１１月２日、１０：００～１２：００開催場所：小川会館司　　会：窪田リーダー |
|  |
| Ⅱ．出席者　：本部：長谷川さん、 中泉さんせんげん支隊：窪田さん　　　下小川支隊：長さんかえで支隊：甲斐さん、　　　蜂谷戸支隊：小林（勝）さん柳谷戸支隊：小林（洋）さん　　　　　　　　事務局：林さん、大久保　計９名 |

 |
| Ⅲ.議題と結果**１．用語の統一** 　これまでの議論の中で、用語がマチマチのものがあるので統一を図った。（１）本部と各支隊の災害対策本部の名称　　・非常時にトランシーバーで一斉に交信するケースも考え、本部、各支隊及び近隣他自治会の災害対策本部を混同しないよう、次の通り、正式名称と略称を定める。　　・本部・災害対策本部⇒略称**「小川中央本部**」　　・各支隊・災害対策本部⇒略称**「○〇支隊本部」**（２）避難場所の名称　　・現在、学校と公園について、「避難場所、避難広場、一時避難場所」等色々な名称が使われているので、次の通り統一する。（町田市が使用している名称に合わせる）　　　・一時避難場所である公園⇒**「一時避難場所**」＊「一時」は、正式には“いっとき”と読むが、”いちじ“も可とする。　　　・避難施設である学校⇒**「避難施設」**　　　　＊町田市の正式名称が、昨年１２月に、「避難所」から「避難施設」に変更されている。**２．時系列に添った防災活動のフロー** 　（１）別添「非常時の防災活動対応フロー」について、林さんから説明があり、討議の結果了解。－１－**3.災害対策本部の役割と体制**（１）別添「災害対策本部の役割と体制」について事務局より説明、討議の結果次の通り一部を修正して了解。　（２）本部・災害対策本部　　　　①支隊からの応援要請に応えるべく本部に「機動隊」を置くかどうかについては、　　　　被害の少ない他支隊が応援することとし、本部には機動隊を設置しないことする。　　　②原案では、災害対策本部に、「情報・広報担当」の他に「被害把握担当」を置いていたが、本部要員の人数が足りないこともあり、両者を統合し「情報・広報担当」　　　　　とすることに決定。　　　③小川小学校への「避難施設連絡員」の人数は、当初２名必要としていたが、１名と修正、必要があれば増員することとした。（３）支隊・災害対策本部　 　①最終的に原案通り了解。　 　②但し、地震発生直後の段階では、活動隊員がどれくらい公園に集合できるか分からないため、原案組織図の班編成にはこだわらず、臨機応変に集まった隊員を必要な活動に振り向けることした。　　③直後の人員配置としては、巡回班への配置を最優先とすることとした。　**４．最終報告書の全体構成及び第１編までの内容** 　　（１）全体構成　　　　・構成は、原案通り次の３編とすることで了解。　　　　　①第１編・非常時対応検討の大前提・確認事項　　　　　②第２編・非常時の対応・体制　　　　　③第３編・今後整備すべき重要事項　　（２）最終報告の位置付け、名称　　　　・本チームの当初目的及びこれまでの討議内容から、「ガイドライン」とする。　　（３）まえがき、第１編の内容　　　　・一部字句を修正し原案通り了解。**5．配布資料**　　①「非常時の防災活動対応フロー」　　②「災害対策本部の役割と体制」　　③「非常時の対応・体制ガイドライン」　　**６．今後の日程** 　・１１月２９日(土)　午前10時～１２時　小川会館１階にて　　　　　以上 |